



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2024
10月号
No.—594



生誕120年記念

モダニスト福田豊四郎、秋田を描く

と き／10月9日(水)～11月24日(日) 9:30AM～5:00PM
と ころ／堂本印象美術館 (10/14以外の月曜と10/15休館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007



《早苗曇り》1930年
(秋田県立近代美術館蔵)

福田豊四郎(1904-1970)は郷里秋田の風景を詩情豊かに描きながら、一方で日本画の革新を目指したモダニストという面をもつ。豊四郎ははじめ京都で洋画を学んだ後、東京の川端龍子と京都の土田麦僊に師事して日本画家となる。1924(大正13)年の第4回国画創作協会展に初入選。1928年に活動の拠点を東京に移してからは青龍社に所属して意欲作を発表するが1933年に脱退。その後岩橋英遠、吉岡堅二らと「新日本画研究会」(のち新美術人協会)を結成し、日本画のモダニズムを推し進めた。戦後の創造美術(のちの創画会)の旗揚げにはその先頭に立ち、戦後日本画を牽引した。

本展では、豊四郎が生涯に渡り愛した秋田に題材を求めた作品を中心に、初期から晩年までの代表作を一堂に紹介し、豊四郎芸術の魅力に迫る。



《樹木》1937年
(秋田県立近代美術館蔵)



《雪国》1968年
(秋田県立近代美術館蔵)

LOVE ファッションー私を着がえるとき

と き／9月13日(金)～11月24日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都国立近代美術館 (10/14以外の月曜と10/15休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

私たちは長い歴史の中で、着ることを通じてさまざまな情熱を傾けてきた。たとえば豊かさや権力の象徴とされ、18世紀には絹織物の文様にも現れた毛皮は、現在では動物保護をうたう一方でその手触りを手放すことのない、相反する価値観を含んでいる。本展では、KCI(京都服飾文化財団)が厳選した18世紀から現代までの衣服作品を通じて、「着ること」をめぐる人々の多様な願望である「LOVE」とそのありようについて見つめ直している。

美しい花柄が広がる18世紀の宮廷服、いまにも動き出しそうな鳥たちがあしらわれた帽子、極端に細いウエストや膨れ上がった袖のドレス。歴史を振り返れば、過剰や奇抜と思える装いにこそ当時の人々の美意識が凝縮されていた。現代のデザイナーも新たな形や意味を服に込め、私たちの日々の気分を切り替えるだけでなく、別の何かへと変身できるような感覚を与えている。デザインを極限までそぎ落としてミニマルな装いの記号へと還元するヘルムート・ラングや、ヴァージニア・ウルフの『オーランド』に触発され、時代や性別を超えた衣装で私たちの固定概念を揺さぶる川久保玲(コム・デ・ギャルソン)、コロナ禍、二度にわたる延期を乗り越えて発表されたジャン=ポール・ゴルチエとサカイのコラボレーションによるオートクチュール作品など。着る側と作る側それぞれの熱い「LOVE」から生み出された装いの数々が登場。着るという行為は「私」という存在の輪郭にも働きかけます。本展では、さまざまな願望や葛藤を抱えながら現代を生きる多様な「私」のありようを、現在活躍するアーティストたちの作品を通して紹介している。



Gaultier Paris by
sacai
アンサンブル
《I Gaultier under
my skin》
2021年秋冬



Comme des
Garçons(川久保玲)
トップ、パンツ
2020年春夏
©京都服飾文化研究財団、
撮影：来田猛

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	京都府コレクションにみる刺繍の世界											京都府内の学校所在資料展 3																			
	3F	池大雅展／近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝14－源氏物語と宇治																														
	4F	生誕140年記念 石崎光瑠																														
	5F	エレベーター工事のため、閉室																														
	6F	エレベーター工事のため、閉室																														
別館		音楽会	音楽会	講演会	京都アート・クラフトマーケット 2024			音楽会	イベント	音楽会	音楽会		音楽会	第5回 きょうと椅子																		
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	令和6年度特別展 京都府立植物園開園100年記念「植物園のはじまりと100年の森」 ※休日、毎月第2水曜日は休館 (10月9日、14日、11月3日、4日が休館日)																															

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	LOVEファッション-私を着がえるとき																														→11/24						
	4F	シュルレアリスム宣言100周年 創画会改称50周年記念特集															2024年度 第3回コレクション展															志村ふくみ 繻織 自画像に見る in search of myself	→12/1					
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展 法然と極楽浄土																														→12/1						
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	本館	京都市立芸術大学移転記念 特別展 巨匠たちの学び舎 日本画の名作はこうして生まれた																														→11/3						
		GUCCI COSMOS										第74回 京都勤労者文化祭書道展										第45回 美工作品展					京友禅 きのの芸術展 第15回写真と美術と工芸の文化交流展写楽彩2024						第87回新制作展					日本山岳写真協会 関西支部展
		第39回 随風會書法篆刻展										第79回行動展巡回展					第13回 SYOサロン展					→11/3																
	東山キューブ	GUCCI COSMOS																														→12/1						
	別館 1F	第78回 文人展										第43回 魁書道展					第51回在日朝鮮学生美術展京都展					第70回記念 一陽展																
	別館 2F											第38回京都芸術祭美術部門 国際交流総合展					選抜京都墨彩画壇秋季展																					
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第46回日本画光文展					公募選抜 京都現代水墨展					ファム展 (美総合)					7人の絵画展 (洋画)					第54回京都写真家協会展	→11/3															
	2F	第27回日本画展きら					龍篋會書展					第一美術関西展 (美工総合)					第11回Étude展 (人物画勉強会有志展) (洋画)					京都自由写壇展	→11/3															
	3F																																					
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		展示替えのため休館															特別企画展 生誕120年記念 モダニスト福田豊四郎、秋田を描く 土田花櫻に愛された日本画家															→11/24						
①	何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		ロニスの愛したバリ WILLY RONIS 展 (月曜休館・但し祝日は開館)																																			
①	高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	千家十職 塗師 十三代 中村宗哲展					木彫三人展 -秋山隆・木村俊也・丸山達也-					神農 巖 陶展 -生命から祈りへ-					指物師 一瀬小兵衛展					知覚への扉 CONSCIOUS and UNCONSCIOUS DOORS	→11/4														
		美術工芸サロン	出雲焼 長岡 空和 茶陶展					井尻杏那 陶展					中本若枝 作陶展					大前 史 陶展					永守紋子 漆展	→11/4														
		グランドホール																																				
①	大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	第五回 現代書家 岡本光平展 「婆娑羅BASARA」～反骨の気骨～					ちっさいちっさい 楠堂葵 水彩画展					～光のルネッサンス～ 加國哲二 油彩画展					いい芽ふくら芽 受賞者展					通次阿山 茶陶展	→11/5														
		アートサロン	山内みさを スタンドグラス展 行灯と和みの灯り					山口賛治 油彩画展					SPACE 絵画コレクション					烏丸由美展 温故知新 -Forming new art from classics					小嶋工房 螺細漆 工芸展	→11/5														
		ミュージアム																																				
①	中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		面屋庄甫の世界 その軌跡 (月曜休館)																														→11/22					
①	並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		2024年度 秋季特別展 (月・木休館、祝日の場合は開館し、翌日を休館) 「並河七宝の光彩 -色と容(かたち)の玉手箱-」																														→12/15					
①	泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411		改修工事のため、2025年春まで休館いたします。																																			
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
①	芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町357-8 754-8556																																					
	アートギャラリー-博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401										-in Paris- Michel Dambrine/Mineo Kuroda 二人展 (月曜休廊)																											
①	アートギャラリー-鷹休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		常設展 (貸ギャラリー-受付中)																																			
①	アートスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		TAMAMI HORI 洋画展					Galaxy展 小林真緒美・早月 art 書・アヤノ Spill The Beans・タカオ aroma workshop 20(日)					岡本英樹 petit個展 フォーヴィズムと花札の共演 (月曜休廊)					→11/3																				
①	アートのスポット 櫻奏 東山区八坂通大和丸東入 090-3945-7492		常設展 (火曜11:00~13:00、木曜11:30~13:00) ※他の日時は予約制																																			
①	Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788		小原古邨展 開館日: 毎週火曜・金曜 (祝日は休館・完全予約制: 午前・午後各一組4名まで)																														→11/5					
①	綾小路ギャラリー-武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		gama da gama 秋の個展2024 写真家 青山智圭子21周年記念写真展 永遠の一瞬を撮る 光と影の21年					チョークアート展					Sieva ストール 婦人服 京都西陣織・丹後織物					ジョイ展					Room Ycina POPUP SHOP	→11/3														
①	芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		雅堂会作品展																																			

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

〔今月の展覧会より〕

巨匠たちの学び舎 —日本画の名作はこうして生まれた—

と き／10月11日(金)～12月22日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都市京セラ美術館 (祝日以外の月曜と10/15休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

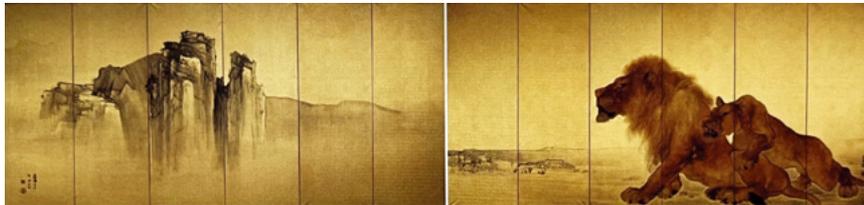
昨年秋にキャンパスを京都駅東部へ全面移転した京都市立芸術大学は、1880(明治13)年に開校した京都府画学校に起源を發する。以後、何度も校地を移転しながら美術工芸学校、絵画専門学校と名称を変えながら発展してきた。竹内栖鳳、山本春挙などが教壇に立ち、土田麦僊、村上華岳、小野竹喬ら数多くの画家たちが学んだ歴史を積み重ねており、今回また新たな1ページが加えられたのである。

本展では、のちに巨匠となり画壇に燦然と輝いた日本画家たちの、若き日の挑戦作や、教員となった画家たちが矜持をもって制作した名作を、学校の歴史と共に回顧する。大学の全身である京都府画学校や美術工芸学校、絵画専門学校で研鑽を積んだ47人の画家の作品を一堂に紹介。学校時代に悩みながら制作した卒業制作や画壇デビュー時の作品など、画家の初期作と評価を高めた充実期の代表作が並ぶ。一方では戦中から戦後にかけて伝統的な日本画の枠組みに疑問を呈し、新機軸の芸術を生み出そうとした戦後若い世代の台頭をも視野に入れての展観となっている。

京都の近代美術を育んだ場所「学び舎」について、知るための機会になることだろう。

なお京都芸大芸術資料館では、「京都芸大〈はじめて〉物語」の第3期「道を拓きしものたち—知られざる先駆者—」展が開催中である。併せてのご観覧をお願いしたい。

前期：10月11日(金)～11月17日(日) 後期：11月19日(火)～12月22日(日)



竹内栖鳳《獅子岸壁》1904年頃
【前期展示】(豊田市美術館蔵)



村上華岳《阿弥陀》1916年
(京都市美術館蔵)



土田麦僊《髪》1911年
【前期展示】(京都市立芸術資料館蔵)



中村大三郎《ピアノ》1926年
(京都市美術館蔵)



不染鉄《山海図絵(伊豆の追憶)》
1925年
【後期展示】(公益財団法人木下美術館蔵)



稲垣伸静《猫》1919年頃
(星野画廊蔵)



下村良之介《池畔》1957年
(京都市美術館蔵)



三上誠《作品(化石)》1957年
【後期展示】(福井県立美術館蔵)

面屋庄甫の世界 その軌跡

と き／10月4日(金)～11月22日(金) 10:00AM～5:00PM
 ところ／中信美術館(月曜休館) 料 金／無料
 京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136-3

展覧会概要

長い伝統を継承した優雅で風格のある京人形とともに、世界各地を訪れ多様な文化や人との交流の中で培った独自の世界観で様々なモチーフの独創的な創作人形を制作する京人形司十四世面庄・面屋庄甫氏による展覧会。本展では、「インドシリーズ」など新たな時代を意識した1970年代の作品から、「包縛シリーズ」や等身大以上の大きな「ひとがた」、近年の詩情溢れる創作人形などを一堂に展示し、これまでの創作活動の変遷を振り返ります。



「安息への流れ」1975年



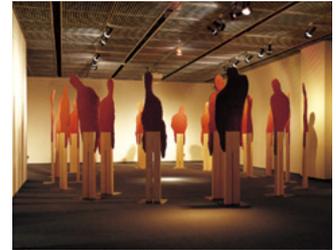
門付「祈りの舞」
2013年



時空「鹿ヶ谷かぼちゃ」
2018年

作家経歴

- 1947年 京人形司十三世面庄・面屋庄三の三男として京都に生まれる
- 1989年 京都市芸術新人賞受賞
国際交流基金により
インドネシア、タイに派遣される
- 1993年 第6回京都美術文化賞受賞
- 1996年 京人形司十四世面庄・面屋庄甫を襲名
- 2018年 京都府文化賞功労賞受賞
- 2021年 京都市文化功労者顕彰



「神様の宿る場所(CIRCLE'93)」
1993年

並河七宝の光彩 一色と容の玉手箱

と き／9月3日(火)～12月15日(日) 10:00AM～4:30PM
 ところ／並河靖之七宝記念館(月曜・木曜休館)
 京都市東山区三条通北裏白川筋東 ☎075-752-3277

きらきらと耀く並河七宝は、明治の代に「並河靖之七宝工場」と「店」を営んだ並河靖之(1845～1927)と職工たちにより、この地で創り出されました。靖之は1845(弘化2)年京都に生まれ、11歳で縁戚の並河家の養子に入りました。青蓮院門跡坊官を務める家柄のため、天台座主・青蓮院宮入道尊融親王(後の久邇宮朝彦親王)に仕えました。しかし、時代は幕末維新の激動期にあたり、主人が被る境遇に自身も翻弄され、先行きへの不安が絶えずあり、靖之は朝彦親王に仕える傍ら、当時京都でも新産業として注目された七宝業に飛び込みました。日本の七宝業の系譜は近世初期に遡り、江戸時代には幕府お抱えの七宝師・平田道仁を祖とする一族によって技法が相伝されてきました。そのため、幕末の尾張藩で梶常吉が独学で技法を開発し、尾張七宝の産地が隆盛すると、早くも海外輸出を果たすなど、近代七宝の胎動が始まりました。近代七宝業は明治維新後の京都でも産業としての将来性が期待され、東京、神奈川、山梨、埼玉など、各地で関心が高まり、着手された新興産業でした。靖之も1873年から七宝を手掛け、実業の世界で紆余曲折を経ながら自身の七宝業を究めて、日本の七宝を世界に冠たすものとなりました。

有線七宝技法を特徴とする並河七宝は、金属の器胎を素地とし、図柄の輪郭線(アウトライン)を金属線で模り、ガラス質の多彩な七宝釉で色を挿す工程を経るため、金属線と釉薬の色と独創的な容が相まって、妙なる光彩を放ち、見る人の心に美しい光を満ちわたらせます。19世紀の万国博覧会を通じて、靖之が創始した並河七宝をはじめ日本の近代七宝は、高い技術力により世界を驚かせ、外国人たちは日本の文化や歴史に対する評価と理解を一新する存在となり、多くの人々を日本へ、京都へと誘いました。そして、今日、日本文化は古典や現代アート、アニメやゲームも含め世界中の人々を魅了していますが、工芸もそのひとつで、並河七宝をはじめとする明治の工芸は日本を代表するものとなりました。

この度の展覧会では、ひとりでも多くの皆様に並河七宝の存在をお伝えいたしたく、「並河七宝の光彩一色と容の玉手箱」をテーマに開催しました。近代七宝の研究は途上にあり、並河七宝や明治の七宝業の多くには未だに分からないことも多くありますが、並河家に遺され、当館に受継がれた様々な資料を紐解きながら、並河七宝の魅力をご紹介します。落着かない世情ですが、皆様には当館にて心穏やかに観照のひと時をお過ごしください。

並河靖之七宝記念館



会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																															
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F 八田哲展 京都 -昨日今日- (日本画)	杉田徹 作品展 Saturated State (銅版・木版)					谷 なつ子 展 (ミクストメディア)					海野厚敬展 図鑑 (新制作協会会員)					第5回 現代の 日本画 -世代を つなぐ-					→11/3										
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	松本誠史 個展 新塊人と塊獣 (月曜休廊)																															→12/22
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	森下希和子 (平面)					ザ☆オマモリ					ザ☆オマモリ					ばんばまさえ (テキスタイル)					→11/3										
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	4F	サイアノタイプ展					サイアノタイプ展					平面・立体5人展					平面・立体5人展					Before Art Knew (平面)	→11/3									
貸企		5F	美津石絃詩 (ガラス)					美津石絃詩 (ガラス)										日韓交流展															
企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	芥川 宏 陶磁展2024					増田政江 布と糸のArt展					装展 風間紀子 オリジナルウェア (月曜休廊) 工房・染布 手織りで楽しむ洋服と小物					吉田はつみと Mary Jaeger ウェアラブル アート					→11/3											
企	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																															
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水曜・日曜休廊)																															
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321																中尾 誠 油絵展「皮膚に」へ 11:00AM~6:00PM (月曜休廊)																→11/3
貸企	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	「秋を楽しむ器アラカルト」(月曜休廊、14日(祝)営業) 秋冬に向けたテーブルウェアのご紹介															「クリスマスの準備展」(月曜休廊) クリスマスに最適な器・グラス・オーナメントなど を順次展開																→12/25
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																															
企	京都芸大ギャラリーアーク 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟階 585-2010	聞く／聴く：探求のふるまい																															
企	京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟階 585-2010	京都芸大 (はじめて) 物語 第3期「道を拓きしものたち」 10/14(月) 休館																															→11/24
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	ムラティ・スルヨダモ TIDAK APA-APA																															
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	京都の洋画-京都で描く・京都を描く(水曜休館) 伊藤快彦・太田喜二郎・須田国太郎・安井曾太郎・寺松国太郎・浅井忠・鹿子木孟郎																															→12/8
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	清永安雄写真展															清永安雄写真展															
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	2F [花]	杉浦正和 写真展「1993 NEW YORK」					家辺大輔写真展					榊原斎写真展					日本リアリズム 写真集団 京都支部展					→11/3										
貸企		1F																															
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	2F	森本真二陶展 (木曜休館) -炎(ほむら)に魅せられて-					清水焼団地協同組合-京焼・清水焼を楽しむ (木曜休館)					第六七回 京陶人形展 (木曜休館)					→11/6															
貸企	宏 寛 堂 中京区姉小路高倉東入ル 090-7480-7733	常設展 (貸ギャラリー受付中)																															
貸企	堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	宮崎真展 (木工)					箱崎竜平陶展					HALLELJHA					「水・森・暮らし」展 30名の作家による展覧会					橋本明子 日本画展					→11/3						
企	大 雅 堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展															嚙矢祭-其之百三十三- 田尾憲司展																常設展
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																															
企	梅 軒 画 廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画常設展																															
貸企	ピニールテープ(旧後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938	常設企画展																															
企	星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和 名作発掘品展 (日曜・月曜休廊)																															

【京都画連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>